



2018 冬号

No.231

橋

はし



東京都 東京ゲートブリッジ

BRIDGE

謹んで 初春のお慶びを 申し上げます



医療法人藤井会 理事長 藤井 弘史

平成30（西暦2018）年を迎えることができました。皆さま、新年明けまして本当におめでとうございます。

無機質的に言えば、1年というのは1日1日が連なり積み重ねられた時間軸の1つの単位に他ならないと思います。しかし、人としての有機的な見地からは、新年を迎えられるのは特別なことであり、本当に有り難いことだと思います。

私は日記を全く書かないのですが、1年に1度だけ大晦日の夜にその年を振り返り、回顧録のようなものをまとめながら新年を迎えております。誰しもが、旧年もなんとか過ごせたことに感謝し、新年が素晴らしいものになることを願っていると思います。

昨年は祖母が享年104歳で身罷ったこともあり、人生というものについて、ひときり感慨深く考えさせられました。また、戦前、戦中、戦後の混乱期、高度経済成長、オイルショック、バブル景気、バブル崩壊という、治乱興亡のうち治乱興の3つを経験した祖母の言葉には重みがありました。生き様を伝授してくれた祖母には、ひたすら感謝、感謝の言葉しかございませ

ん。今の平和で豊かな生活を私たちが享受できているのは、戦中と戦後の混乱期をたくましく生き抜き、勤勉に働いてくれた先人の方々のおかげだと改めて深謝しております。人の顔を見ずにスマホの画面を正視しながら遣り取りをしている光景を見ると、先人達が共有していた“人と人の繋がり”や“お互い様”という気持ちを大切にする精神が、絶滅危惧状態にあると懸念しています。病気と無関係の相談事まで受けられる医師こそが、全人的な医療を実践できると私は思っております。

医療法人藤井会は、医療を中心に地域に貢献してきたと自負しておりますが、その淵源は藤井会の創業者で初代理事長（現会長）の藤井弘一の“患者様のために”という一途な想いです。会長は患者様と正面から向かい合うことを何よりも大切にして参りました。石切生喜病院で電子カルテの使用を中止した理由の1つは“画面ばかり見て医者が患者を見なくなった”というお叱りの声です。後年のことでありますが、新聞の読者欄に「医師に対して心の中でこっちを見ろと叫んでいる」との電子カルテについ

ての記事が掲載されておりました。可能な限り、今後も患者様のことを正面から見つめる態度を示せる医療を提供して参りたいと考えておりますが、社会的背景が変わってくれば、地域医療に密着している藤井会にとっても電子カルテは避けることができない時代が来ると考えられます。

上述のように電子カルテは患者様からの満足度は低いものでありますが、医療スタッフからは導入の希望が強いものです。入院中の患者様やそのご家族への病状説明については、ご家族の立場では仕事が終わってからの時間や休日を希望されることが多いのですが、医師の時間外労働の問題から最近では原則的に昼間の医師の勤務時間内しか病状説明を行わない病院も増えて

おります。病院の平均在院日数や患者様の重症度についても厳しい基準が定められており、患者様やご家族が入院の継続を望んでも、急性期病院では早期の退院を求められるようになっております。患者様が望まれるところと、病院側がさらされている環境とは、乖離が生じております。今年の4月は、6年振りの診療報酬と介護報酬の同時改定が行われます。今後の改定は厳しいものになると言われておりますが、藤井会としては患者様に寄り添えるように努めて参りたいと考えております。特に、この国を牽引していただきました御高齢の方々へのご恩返しにすることができれば幸いです。どうか今年もよろしくご指導をくださいますようお願いを申し上げます。

石切生喜病院 病院長 山本 久美夫

明けましておめでとうございます。我国には成年に関連したいわれは安産で、妊婦さんは5ヶ月に入った戌の日に安産を願って腹帯を巻く習慣があります。新しい命が誕生するにあたっての微笑ましい習慣であります。我々の藤井会におきまして昨

年は4月には万葉まほろばの奈良の地に藤井会の新しい発展の萌芽ともいえる香芝生喜病院が誕生し、続いて9月には藤井会の新進気鋭の新理事長が誕生致しました。今後の藤井会の一層の発展と盤石の基礎固めとなるものと確信致しております。

ところで医療界におきましては、昨年秋の衆議院選挙の与党の圧勝に伴って社会保障制度としての医療費の大幅な削減策が発表され、従来にも増して厳しい病院運営が求められるように思われます。また本年の診療報酬改定はその一部がマスコミ報道に



写真はイメージです。

垣間見られるところによりますと抑制策のみが際立っている感があります。予想以上の困難になるものと推察するところですが職員の皆様のご協力により十分に克服していけるものと確信しております。

本年4月より発足する予定の新専門医制度ですが研修医制度とも密に関連しており今後の我が国の医療制度改革の一環としても大変な注目を浴びております。新専門医機構と各学会の連携がいまだしっかりしない印象は否めませんが、一時の大きな頓挫からやっと生みの苦しみを乗り越えようとしているようです。今後新研修医制度で誕

生する若手医師が獲得するプライマリーメディシンに関する経験と知識は我が藤井会の病院のみならず、我が国全体の国民医療の充実発展に不可欠であるといえます。石切生喜病院の医療現場を支える全ての職員の皆様には彼ら研修医の皆さんの成長を暖かく見守っていただきたいと思う次第であります。

今後も石切生喜病院が患者様並びに地域医療機関の皆様の信頼に応えられるよう一層努めてまいります。



大東中央病院 病院長 梶山 雄司

平成30年を迎えるにあたりご挨拶申し上げます。新しい年が皆様にとってよい1年となりますようお祈りいたします。

大東中央病院は昭和63年10月1日より診療を開始しました。昭和64年は7日間で終わり平成元年となりました。平成の年号が当病院の歴史を現わしており、今年10月1日をもって創設30周年となります。開設時は中谷（初代院長）、福富（2代院長の後、石切生喜病院院長）、福井（北河内藤井病院院長から現在みくりや診療所院長）、梶山の僅か4人の医師と元気いっぱいの職員たちに支えられてスタートしたのが昨日のようです。創設以来勤務しておりますのはついに私だけとなりました。昨年10月第5代院長を命じられま

した。地域の皆様のお役に立つことだけを考えてまいりました30年でしたが、この間に政治社会情勢は目まぐるしく変わり、大災害もありました。病院でも患者様の高齢化は進み、病気の構造が変化し、医療の安全にさらに務める必要に迫られてきました。病院の中から日本の変化を実感してきた30年でした。しかし立ち止まるわけにはいきません。現在の当院の課題は新しい医療の導入とスタッフの充実、待ち時間の解消、建物の老朽化への対応と考えています。

今後も地域の皆様の健康を守ることを第一に考えてまいりますのでよろしくご指導の程お願い申し上げます。

香芝生喜病院 病院長 白井 典彦

新年明けましておめでとうございます。

家集団の“香芝生喜病院”の真の基礎を築く年であります。

皆様方におかれましては心新たに平成30年の“戌年”をお迎えのこととお喜び申し上げます。

さて、私事ですが、私は4年前に大腸がんと悪性リンパ腫を患い、手術、放射線治療、化学療法を受け、現在も“がんと共に生活”しておりますが、常に前向きに仕事・遊び・治療と優先順位を考えながら生きております。しかし、私は患者の立場になって初めて学ぶことが多くあり、今までの医師としての生き方に反省と後悔の念を抱き日々葛藤しております。

思い返せば、4年前の年の暮れに始まった“香芝生喜病院”開設への準備が懐かしく思い出され、昨年4月に風光明媚な二上山の麓、活気のある若い街“香芝市”に、地域の皆様方をはじめ行政、医師会などのご指導の下に香芝生喜病院としての第一歩を踏み出してから初めての新年であり、何か感慨深いものを感じております。

患者様には“心優しい声掛け”これが何よりの良薬であることを学びました。今後の病院運営に少しでも活かせたらと模索し、その第一段階として院内の“接遇委員会”を活用し、患者様の身に寄り添った心温まる“声掛け”と“思いやり”そして“まず診せていただきます”を今年の大きな接遇の目標にしたいと思います。

まだまだ皆様方にご満足いただけるような医療の提供を果たせていないと日々反省しておりますが、未永く地域医療に少しでも貢献出来たらと職員一同今年も頑張っております。

特に今年の干支“戌”の特徴は、安産で勤勉で努力家であり、守り本尊の“阿弥陀如来”は深い慈悲で極楽浄土に導いて頂けることですので、今年の干支にあやかって、皆様方のご指導のもとに存在感のある、勤勉で努力



写真はイメージです。

又、藤井会では私を中心として循環器・消化器・呼吸器疾患そして透析医療などをテーマに講演会を開催しておりますが、今年1月にはその集大成として新たに“がんと共に生きる会”を予定し、国民の三大疾病を総合的に模索して参りたいと念じております。

皆様方の、益々のご発展とご健勝を祈念しつつ新年の挨拶とさせていただきますと同時に、何卒、ご指導・ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

北河内藤井病院 病院長 川口 雄才

新年あけましておめでとうございます。
 今年は戌年で、十二支では十一番目になります。この十二支は子年から始まり亥年で終わりますが、この意味は植物の成長過程を表しているとも言われています。つまり、植物は種子（子年）から発芽（寅年）して盛んに成長（辰年）し、そして新しい種子（午年）を生み出して熟し（申年）、完熟した作物を収穫（酉年）して畜えた（戌年）のち、皆に行き渡らせる（亥年）ことに喩えられています。この様な事から、今年は成長を促してくれる一年になって行くそうです。



ところで、「日々是好日」という言葉がありますが、この意味を順風満帆で、毎日が順調に行って、嬉しくて楽しい日々が続くと思っ居られる方が多いのではないのでしょうか。実は、「日々是好日」は碧巖録第六則に収められている、臨済宗の公案（修行のための試験の様なもの）の一つです。この公案は、唐代末期の雲門禪師が大勢の弟子たちに向かって、「これまでの十五日間の修行の成果はさておき、今日以降の十五日後の心境を一言で述べなさい」と問われたところ、誰も

直ぐに返答できなかつたので、雲門禪師自ら「日々是好日」と答えられました。お釈迦さんの教えは「今を大切に生きる」ことですので、分からない未来の事を議論すること自体あり得ませんから、弟子たちが答えられずに当惑するのも無理はありません。それを敢えて、雲門禪師が未来を尋ね、なぜ答えを自ら言ったのかというのが、この公案の問いです。

人生は山あり谷ありです。
 良い時もあれば悪い時もあります。
 その良い時と悪い時を区別することなく、目の前の現実を全て「あるがまま」に受け入れて、日々を一生懸命に生きて行けば、良い時も悪い時も好日になりますと言うのが、雲門禪師の言わんとするところなのでしょう。

この世は、常に生滅流転し、永遠不変のものはありません。これを仏教では、諸行無常と言います。この苦楽の無常の世を、皆様と共に生きて行く縁を頂いたことに感謝し、このさき藤井会が大きく成長していくことを祈念して居ります。そのためにも、今ある現実をあるがままに受け入れて、日常の業務を「日々是好日」で、皆様と共に歩んで行けたら幸いです。

今年も宜しくお願ひ申し上げます。



藤井会リハビリテーション病院 病院長 鄭 台キョク

あけましておめでとうございます。
 平成28年4月、回復期リハビリテーション病院に対してアウトカム評価実績指数（27点）が保険改定で新設され、それをクリアすべく全職員が目標に向けて頑張りました。
 平成30年度は、おそらく、診療報酬と介護報酬の同時改定があり、入院料1に体制強化加算が包括化され、また、退院後の身体機能を維持するため、訪問・通所リハビリの提供が要件化されるなど、当院にとっては厳しい改定になる事が予想されます。

さて、当院は、脳血管障害あるいは運動器疾患や廃用症候群で入院される高齢者の患者様が多く、そのため、満足できる摂食が困難となります。でも、病前の食事に近いものが

食べたい。また、ご家族も、何とか自力で食べてもらいたい。美味しそうに食を摂る顔が見たい・・・と願っておられます。

従来、摂食・嚥下については、NST委員会、言語聴覚士（ST）、看護師、栄養士が中心となり取り組んでまいりました。加えて、一昨年からは、嚥下内視鏡検査（VE）の充実、学会基準に沿ったトロミ食の統一、看護部は摂食・嚥下障害看護認定看護師、脳卒中リハビリテーション看護認定看護師を中心に摂食嚥下の訓練を行っております。

昨年4月1日付けで、大野耕一院長代理が就任されました。患者様一人一人に見合ったリハビリの提供、「患者様ファースト」を今後も継続します。今年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。



深江クリニック 院長 尼木 純子

新年あけましておめでとうございます。
 皆様におかれましては、新たな気持ちで新年をお迎えのことと、拝察いたします。

昨年は、香芝生喜病院開院、新理事長就任など、藤井会も新たな一歩を踏み出しました。深江クリニックも藤井会の一員として、着実な一歩を歩み続けたいと思っております。

昨年は、本クリニックもオンライン透析治

療を導入したり、医療安全の勉強会をしたり、皆で意見を出し合いながら、より良い医療環境を患者様に提供できるように努力してまいりました。

引き続き、本年も患者様とのコミュニケーションを大切にしながら地域に密着した良質な医療を提供できるように邁進していく所存です。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

みくりや診療所 院長 福井 寛也

新年明けましておめでとうございます。

昨年4月にみくりや診療所の院長に就任して、初めて診療所の医療というものを経験しました。小さな診療所ですが、職員にも温かく迎えていただき、恵まれた環境の中で、会長の「患者様第一」の精神を受け継いで診療をおこなってきました。会長を慕っておられる患者様が多いのには驚き、今更ながら会長の偉大さと長年の丁寧な診療の実績に感服させられています。

当院では病気の治療や薬剤の投与だけでなく、患者様の総合的な健康管理を行っています。これを行うには、患者様からより多くの患者情報を収集する必要がありますが、幸い当院のスタッフは患者様とのコミュニケーションは抜群に長けており、多くの患者情報が得られています。

また、当院では血液検査や診察から得られる情報だけではなく、超音波検査を多くの患者様に受けていただき、患者様の基本的医療情報（動脈硬化度や心機能や腹部超音波検査所見など）として診療に役立てています。

これらの情報を活用して、患者様に必要な医療行為や疾病予防策を施していきます。生活習慣病や高齢者疾患が多い当院では、多くの患者様に栄養指導が必要となります。昨年8月から開始して、月間15名程度の栄養指導を行っています。HbA1cが12%台の患者様が開始して3ヶ月間ほどで6%台になった例もあります。栄養指導の重要性を痛感させら

れました。

リハビリテーションも健康管理には欠かせない治療です。変形性膝関節症では、鎮痛剤の投与や関節内注射も行いますが、最も大切なことは膝関節を支持する大腿四頭筋の筋力を維持及び増強することです。最初は診療所で指導しますが、自分でもできるように指導していきます。頑張っで自分でリハビリをされて、3ヶ月間ほどでずいぶん膝の痛みが軽減した患者様がたくさんおられます。

当院は開院して37年目になります。開院当初からの患者様は高齢になり、通院が困難な患者様も増えてきました。施設に入所される患者様もありますが、在宅療養を希望される患者様に対しては在宅医療を提供しています。現在は3名と少ないですが、今後在宅医療を必要とされる患者様は増加してくると思われます。引き続き在宅医療を行っていきたくと思えます。

当院の特徴は、スタッフが仲良く元気であること、藤井会の一施設であり高次医療施設の応援が得られること、超音波専門医が常勤しており気楽に超音波検査を行うことで患者情報が得られることです。これらの優れた特徴を十分活かして、地域の皆様に頼りにされる診療を展開していきたいと思ひます。藤井会各施設の皆様、みくりや診療所の前向きな診療の対して今後とも応援の程よろしくお願ひします。



住道クリニック 院長 佐井 吉永

皆様、新年明けましておめでとうございます。

今年は、北朝鮮情勢の影響が心配ですが、韓国で冬季オリンピックが開かれます。日本と韓国では時差がなく、寝不足せずにしっかり応援ができそうで、素晴らしいプレーを期待しています。



さて、当院では血液透析医療に特化しておりますが、最新の報告では、全国で約32万人の血液透析患者様がおり、その平均年齢は67歳となっています。また、透析を開始された患者様の平均年齢は69歳をこえ、このため、80歳、90歳となって透析を開始され元気にすごされている方もいらっしゃいますが、全体をみると高齢者医療としての特色も濃くなっています。

透析治療だけでも負担がありますが、経過

中に起こる合併症が多彩でかつ高度になることが多く、さらに、治療はもとより介護もより複雑化してきています。

これに対して、当院では藤井会グループの一員として、合併症に関する検査や治療を関連病院で受けていただけることはもちろん、外来リハビリや訪問看護ステーションの利用に関しても相談させていただきます。

透析治療をがんばって受けていただいている患者様に、生活の質が維持できるよう、できるだけ個々に応じた親身な対応を心がけて頑張っていきたいと考えております。

本年もどうぞよろしくお願ひ致します。



写真はイメージです。



放射線治療装置(リニアック)が最新装置に更新されました

石切生喜病院・放射線治療科 部長 永田 憲司

平成29年7月18日から、新しい放射線治療装置で治療を開始しましたので御紹介をさせていただきます。



最新の放射線治療装置（リニアック）（図1）



治療計画CT装置（図2）

I リニアック棟の増築 治療装置の設置

石切生喜病院では平成18年4月から放射線治療を行っていますが、10年を経過したところより治療装置（リニアック）の故障がしばしば出現するようになりました。そこで、治療装置の更新を計画しましたが、新規の治療装置への入れ換えは機器据付けや監督官庁の許可取得などで、放射線治療が再開できるまでに8～10ヶ月程度を要します。勿論、その間は治療が行えず、治療中断前後の期間を含めると、1年近くは十分な治療ができなくなります。

そこで、リニアック棟に新しい治療室を増築し放射線治療装置を設置することで治療の中断期間を回避することになりました。実は昨年12月に、すでに治療室の増築は竣工していました。平成29年2月に新規の放射線治療装置が据付けられ、放射線治療室のスタッフによって、4ヶ月をかけて治療準備が行われました。

7月14日(金)までは旧リニアック室で放射

線治療が行われていましたが、連休明けの18日(火)からは増築棟内の新リニアック室で治療が開始されました。同時に放射線治療科の診察室も増築棟へ移設され、処置室・リカバリー室も新設されました。

II 最新の放射線治療装置(リニアック) (図1) 治療計画CT装置 (図2) の更新

7月18日から使用を開始した放射線治療装置はイギリスのELEKTA社製のリニアックです。ELEKTA社製の装置は東京大学病院や大阪市立大学病院などでも使用されています。

当院の治療装置の名称は『Infinity』と言いますが、infinityの意味は『無限大』であり、この治療装置であれば患者様に最良の放射線治療を提供できると考えています。

『Infinity』の特徴は以下の通りです。

- ①高エネルギーX線（4種類）
：4MV、6MV、10MV、6MV_FFF
- ②電子線（5種類）：4/6/9/12/15MeV
- ③IGRT（画像誘導放射線治療）
：コーン・ビーム-CT

- ④6軸寝台
- ⑤呼吸同期照射

従来の治療装置のX線エネルギーは2種類でしたが、使用エネルギーが4種類になり腫瘍の深さに合わせて用いるX線の選択肢が増加しました。また、6MV_FFFというX線は従来の治療装置に比べて単位時間当たり発生するX線量が4～7倍になりました。脳腫瘍への定位放射線治療（ピンポイント照射）の治療時間は60～90分から20～40分程度に短縮されました。さらにVMATという最新の治療技術を使用すると、治療時間は15分程度まで短縮されると思います。

IGRT（画像誘導放射線治療）は、治療装

置に設置されたコーン・ビームCTを用いて、治療用寝台を自動的に位置補正することができます。この寝台は6軸補正が可能で、XYZ軸方向の移動以外に、各軸のネジレにも対応した修正ができます。

増築したリニアック棟内には、放射線治療を計画するためのX線CT装置（東芝メディカル社製：Aquilion PRIME）も導入されました。このCT装置は4D-CTと呼ばれる4次元CT画像が撮影でき、吸気・呼気と言った呼吸状態を考慮した治療計画を行うことで、呼吸相に同期させた放射線治療が可能になりました。

III 最後に

新治療室へ移動して数ヶ月が経過しましたが、美しいリニアック棟と放射線治療科ですので、今のうちに見学にいらして下さい。

放射線治療部門のスタッフ一同は、新しい治療装置（リニアック）を用いて患者様に最新・最良の放射線治療を提供していきますので今後とも宜しくお願い致します。



第12回 循環障害を考える会 開催

法人本部 広報課

医療法人藤井会では、藤井会職員と近隣地域の医療機関の先生方との循環を円滑にしようと「循環障害を考える会」を開催しています。

第12回を迎える今回は当法人が昨年4月奈良県内に病院を開設したこともあり、初めて奈良県立医科大学の先生をお招きしました。

日時：平成29年10月21日(土)17:00～19:00

場所：シェラトン都ホテル大阪 4階『浪速の間』

開会の辞：香芝生喜病院 病院長 白井 典彦 先生

一般演題

座長：住道クリニック 院長 佐井 吉永 先生

講演Ⅰ：「石切生喜病院におけるCKD診療」～腎臓内科と地域医療連携～

講演Ⅱ：「超高齢化社会におけるCKDの治療Up-to-date」～腎循環の視点から～

演者：石切生喜病院 腎臓内科 副院長 今西 政仁 先生

特別講演

座長：香芝生喜病院 副院長 島田 健永 先生

演者：奈良県立医科大学大学院医学研究科 臨床実証学講座 教授 臨床研究センター長 笠原 正登 先生

内容：『痛いだけですまない高尿酸血症治療』～生命予後を見据えた治療介入～

全講演とも、予定時間を超えるなど盛況裏に終了しました。

閉会の辞：医療法人藤井会 理事長 藤井 弘史 先生

講演会終了後、情報交換会が行われました。



開会の辞
香芝生喜病院
病院長 白井 典彦 先生



《一般演題》座長
住道クリニック
院長 佐井 吉永 先生



《一般演題》演者
石切生喜病院 腎臓内科
副院長 今西 政仁 先生



《特別講演》座長
香芝生喜病院
副院長 島田 健永 先生



《特別講演》演者
奈良県立医科大学大学院
医学研究科 臨床実証学講座
教授 臨床研究センター長
笠原 正登 先生



閉会の辞
医療法人藤井会
理事長 藤井 弘史 先生

第3回 心臓病の未来を考える会 開催

法人本部 広報課



医療法人藤井会では、平成29年11月18日(土)シェラトン都ホテル大阪 4階『大和の間』にて、第3回心臓病の未来を考える会を開催いたしました。

近隣地域の多くの医療機関の先生方にご参加頂きました。

まず、香芝生喜病院 病院長 白井 典彦 先生の開会の辞がありました。

■ 講演Ⅰ

座長：奈良県内科部会会長 医療法人山田医院 院長 山田 宏治 先生

講演：香芝生喜病院 副院長 島田 健永 先生

内容：『管理目標値を目指す治療再考—これからの日本人にとって必要なEPA、DHA—』

■ 講演Ⅱ

座長：公益財団法人天理よろづ相談所病院 心臓血管外科 部長 山中 一郎 先生

講演：地方独立行政法人 奈良県立病院機構 奈良県総合医療センター

総長 上田 裕一 先生

内容：『2025年の心臓血管外科は?』

閉会の辞として、医療法人藤井会 理事長 藤井 弘史 先生の挨拶があり、講演会を終了いたしました。

講演会終了後、場所を移し意見交換会・情報交換会を開催し、盛況裏に閉会いたしました。



開会の辞
香芝生喜病院 病院長
白井 典彦 先生



《講演Ⅰ》座長
奈良県内科部会会長
医療法人山田医院 院長
山田 宏治 先生



《講演Ⅰ》演者
香芝生喜病院 副院長
島田 健永 先生



《講演Ⅱ》座長
公益財団法人
天理よろづ相談所病院
心臓血管外科部長
山中 一郎 先生



《講演Ⅱ》演者
地方独立行政法人
奈良県立病院機構
奈良県総合医療センター
総長 上田 裕一 先生



閉会の辞
医療法人藤井会 理事長
藤井 弘史 先生



新 石切デイサービスはこの度、4周年を迎えることができました。

これもひとえに皆様のおかげと心より感謝申し上げます。

藤井会新石切デイサービスでは、要支援の方から、要介護5の方まで、毎日様々なご利用者様にお越しいただいております。送迎はスタッフがご自宅までお迎えに上がり、皆様同乗の方々と談笑しながら施設に到着されます。



看護師による健康チェックを行い、ご自宅での入浴が難しい方でも職員付き添いでの安全な環境で入浴していただけます。

日中は脳トレや手芸、製作活動、体操のほか、昨年より常駐し

ている柔道整復師によるリハビリ、マッサージも行います。

日中はできるだけ座って過ごしていただき、スタッフやご利用者様とのコミュニケーションを取っていくうちに朝よりもどんどんお元気になって来られ、「来てよかったわ〜」のお声を頂けることもたくさん見られます。



季節ごとにはボランティアの方々をお迎えしてコンサートを開催したり、夏祭りやクリスマス会を行い、普段することのないゲームに皆様大盛り上がりです。

今後もスタッフ一同、ご利用者様やご家族が喜んでいただけることが一番の喜びと感じ、日々安全で温かい介護、看護をお届けできるよう努めてまいります。



藤井会新石切デイサービスは4周年を迎えました。

藤井会新石切デイサービス 施設長 筒井 紗恵子

訪問看護ステーションでの訪問リハビリテーションについて

藤井会訪問看護ステーション 主任 松倉 繁樹

「お早うございます。藤井会訪問看護ステーションの松倉です。」「ご苦労様！寒かったでしょう。今日は晴れてよかったね。」このような会話が定着してきた今日この頃です。

平成27年4月より、地域の居宅での生活を自立支援するために訪問看護ステーションからの訪問リハビリテーションがスタートしました。

最初は職員2名、月100件程度から2年6ヶ月たった今では職員6名月500件以上まで規模を拡大できました。

当初私は、「患者様、利用者様は急性期病院、回復期病院で十分なりハビリテーション受けてこられている、果たして役に立つことができるだろうか？」「満足してもらえることができるだろうか？」と大変不安でした。

そのため開設当初からの利用者・患者様の関節可動域(関節の動く範囲)の改善度を我々が役に立っている指標にしようと学会で発表しました。

結果は「全体的には悪化しているが、しない人より改善できている。」というものでした。

結果は少し役に立っているかな？という程度でした。

しかし今、関節可動域以外の効果を再確認しています。

それは…

①施設(病院など)を退院した人が、家庭で問題

なく生活するために家(生活場面)の動作環境がきちんと設定されていない人が多く、その場合正しく調整ができる。

②退院とともに過用・廃用になった場合、疼痛や動作の悪化を治療できる。

③生活環境や、運動のアドバイスを生活場面にあったものにする事ができる。

…ということでした。

私は昭和61年に免許を取って約30年間、ずっと建物の中で治療をしていました。医学的にかなり一生懸命勉強してきたつもりでした。しかし在宅で動作を治療するためには、まだまだ考えることが多く、若いスタッフに教えられる事が多いのに驚かされます。私の知恵と若いスタッフの知恵が合わさってより良いものができる事に喜びを感じます。

また、平成29年10月より看護多機能施設「さくら」が始まり、より患者様に寄り添った訓練ができると思います。いろんな苦労が多い訪問事業ですが、これからも良き貢献、良き経験ができればと思います。





大東中央病院 【放射線検査室】

大東中央病院 放射線検査室 技師長 岩城 祥路



診療放射線技師とは、医療における放射線の専門家の事です。医師の指示のもと、放射線を使って体の中を検査したり、放射線を用いた治療を行ったりします。簡単にですが、放射線検査室で行っている検査の紹介をしたいと思います。

一般X線撮影

X線を使って、胸部や腹部、骨などの撮影を行う検査です。
炎症や骨折など、何か病変が無いかを調べます。



骨一般画像(左手)



胸部一般画像

CT検査

X線を使って、体の断面の画像を撮影し、病変の有無を調べる検査です。装置の進歩により、広い範囲を高速で撮影する事が可能になりました。
また、細かく画像データを収集する事で、3D画像を構築するなど、治療に役立つ情報を提供します。



頭部(単純)画像

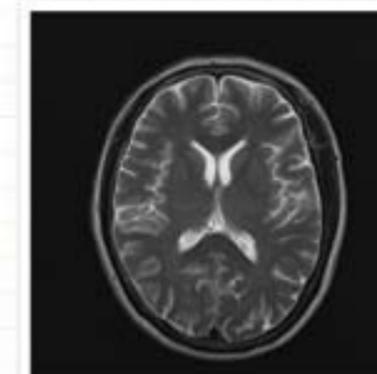


腹部(造影)3D画像



MRI検査

磁気と電波を利用して検査を行います。放射線を使用しないので、被ばくはありません。人体のあらゆる方向の断面を撮影する検査です。検査中、音がうるさいのが弱点でしたが、装置の進歩により、今ではかなり静かになりました。



頭部(T₂像)画像



上記以外にも、X線透視検査やX線血管造影、骨密度測定など様々な検査・治療を行っています。

医療機器のめざましい進歩により、私達の仕事も大きく様変わりしています。医療業界において、放射線を使用する事を許された専門職としての高いプロ意識を持って、常に医療被ばくに対して細心の注意を払いながら、より精度の高い画像情報を提供するため、日々努力していきたいと思っています。

『放射線=被ばく』と、怖いイメージを持たれている方も少なくないと思いますが、安心して検査を受けていただける様、当院の放射線検査室の待ち合いには、『放射線検査室だより』の掲示やパンフレット等の設置もしています。

検査等でわからない事があれば、放射線検査室受付までお問い合わせください。



写真はイメージです。

杖

つえ



大東中央病院 リハビリテーション室
室長 河合 卓哉

歩行は移動手段のなかで最も基本的な動作のひとつです。しかし、けがや病気などによって足の痛みや筋力の低下などが起こり、歩行が困難になることがあります。

このようなときに歩く助けになる道具が歩行補助具です。歩行補助具には杖、歩行器、押し車などがありますが、特に杖は使い方も簡単で扱いやすいという利点があります。

今回は、最も使用頻度の高い杖、その中でもT字杖の使い方についてお話しします。

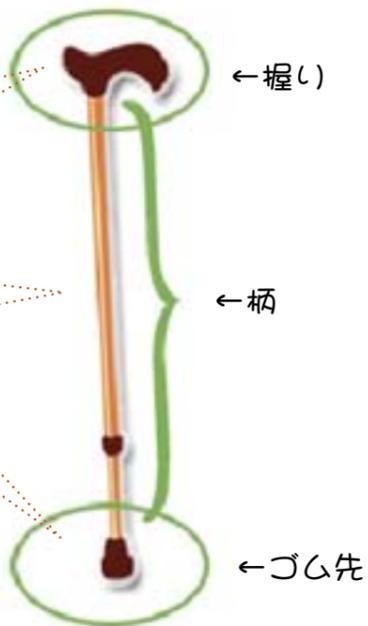
…杖のしくみ…

杖の構成

【握り】握りは杖の中で人と接する最も重要なところ
です。グリップの大きさや種類はいろいろあるので、ご自分
にあった握りやすいグリップを選ぶと良いです。

【柄(シャフト)】柄はまっすぐなもので適度な重さがある
方が安定します。柄の長さによっては非常に使いにくい
ことがあるので、調整が必要です。

【杖先ゴム】地面と接地するところで、滑りにくくなっ
ています。摩耗すると滑りやすくなるので、すり減ってきたら
早めの交換が必要です。



手首の骨が出ている
ところが握りの
位置の目安

…杖の使い方… 杖の長さ

肘が少し曲がる(約 30°)くらいの長さにします。
手首の骨が出ているところに合わせます。

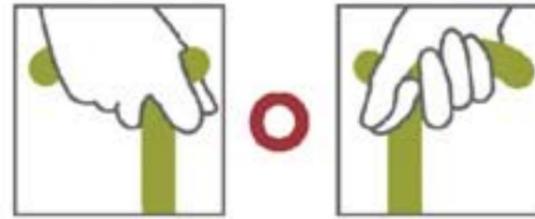


写真はイメージです。

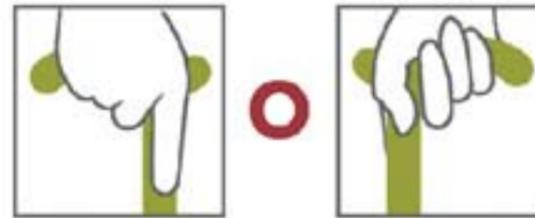
…杖の使い方… 杖の握り方

正しい にぎり方

■人差し指と中指の間にシャフトがくる持ち方

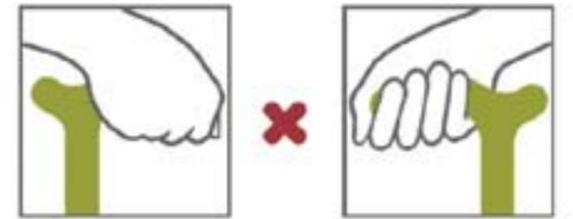


■人差し指をシャフトにそえる持ち方

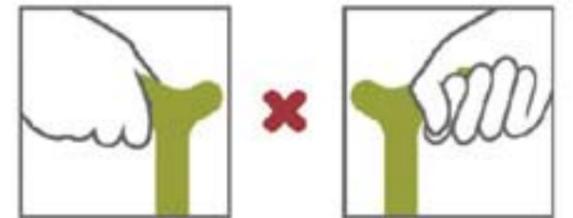


正しくない にぎり方

■シャフトに垂直な力をかける事ができません!



■グラグラ不安定になり、転倒の危険も!!



間違った握り方をすることによって、手首を痛めたり、転倒する原因となったりすることがあります。基本的には“正しいにぎり方”で示しているような持ち方をしましょう。

…杖の使い方… 杖のつき方

杖は基本的に良い足の側に持ちます。悪い側の足で持つイメージがある人も多いと思います。ドラマなどでも悪い側の足に杖を持って歩いているシーンも良く見かけますが間違いです。良い側に持つことで、重心を良い足の側へ傾け、悪い足の側への負担を減らすことができます。



痛みのない側の
手で杖を持つ

まず杖を出す

痛い方の足を出す

良い方の足を出す

以上ですが、これは基本なので最終的には使用する人の使いやすさや
安全性を考慮した上で使い方を決定してください。



看護師や医療職を目指す方の支援を行っています

石切生喜病院 看護部 副部長 森本 満利子

石切生喜病院では地域の中学生の『職業体験』や、高校生の『ふれあい看護師体験』を受け入れています。

当院に来られる生徒さんたちの多くは「看護の仕事をしたい」「看護師を目指している」「医療系の学校に進学したい」という理由で当院に来られます。そのため、看護師をはじめ病院内で働く職員の様子などを知ってもらうために、病院内を隅から隅まで案内します。

そして病棟に入ってもらい、看護師と一緒に患者様の搬送や、シーツ交換、体を拭くお手伝い、配膳下膳などを体験していただいています。

その中で、患者様から「頑張ってね」や「ありがとう」などの声をかけていただくことも多くあり、学生さん達は『人の役に立つことへのやりがい』を感じているようです。夕方には「疲れた」と言いながらも、その顔はとても輝いています。

私たちは、貴重な体験が学生さん達の未来に役立っていることがとても嬉しいです。みなさんの夢が実現するようにこれからも応援していきます。

最後になりましたが、体験学習にご協力いただいている患者様とご家族の方に感謝申し上げます。

香芝市晴実台ふれあい祭りに参加して

香芝生喜病院 地域医療連携室 室長 石井 秀一

平成29年11月12日(日)香芝生喜病院の近隣住宅地の晴実台ふれあい祭りに当院も参加してきました。

当院からは院長、看護部長、看護師長、薬剤師参与、そして私が赴き、ブースではさまざまな医療相談やお薬相談、血圧測定なども行いました。子供用制服を着用して記念撮影ができるメディカルキッズ写真撮影コーナーは若い世代が多い晴実台自治会ならではの盛況でした。

他にも奈良県ご当地アイドルLeSiana(ルシャナ)のライブや香芝市赤十字奉仕団による災害非常食無料試食会など充実した内容の楽しいお祭りでした。

今後も香芝生喜病院は近隣の皆さまへ地域に密着した医療を通し、安心して暮らせる街づくりに貢献して参ります。



薬局通信

50

北河内藤井病院 薬剤室 上田 康朋

写真はイメージです。

こんにちは。今回は北河内藤井病院の薬剤室を紹介したいと思います。

北河内藤井病院は45床の小規模病院で、その中の薬剤室もこじんまりとしています。現在約500種類以上の薬剤を取り扱っています。

薬剤室では男性1名、女性1名の計2名で以下のような業務を行っています。

調剤業務

患者様に安心してお薬を服用して頂くために、お薬の飲み合わせなどを確認して調剤しています。外来ではお薬お渡し口にてお薬の説明が必要な場合は、患者様に直接ご説明しています。

又、当院ではお薬の写真・用法容量・効能・注意事項をまとめた「おくすり説明書」をお薬と一緒にお渡ししています。是非ご活用下さい。

その他、院外処方箋監査業務も行っています。

注射薬調剤

主に入院患者様の注射薬を処方箋を基に、患者様毎に注射薬をセットしています。

投与量・投与方法・投与期間などをチェックしています。

薬剤管理指導業務

入院中の患者様に、医師の指示に基づいて患者様の元へ伺い、お薬の正しい飲み方や効果などを説明しています。他院処方薬(持参薬)の管理も行っています。

医薬品情報管理(DI)業務

医薬品に関する情報を収集、整理し、医師をはじめ医療スタッフに提供したり、質問に答えたりしています。月1回DIニュースを発行し、院内各部署へ配布しています。

おわりに

昨年の9月からは週に数回、薬剤室クラークさんに、日々の業務の補助をお願いできるようになりました。薬剤師の業務を軽減して頂いた分、患者様をはじめ、他の医療スタッフの方々に満足して頂けるよう、より一層努力していきたいと思っています。

今後ともよろしくお願ひします。





冬が旬! りんごを食べよう!

香芝生喜病院 栄養管理室 田邊 あずさ

りんごの
主な栄養素とその働き

有機酸

クエン酸・リンゴ酸といった有機酸を多く含む胃腸の働きを良くし、殺菌作用などの効果があります。

また乳酸を減らして疲れを取り除くため肩こり・腰痛などにも効果が期待できます。

ペクチン

リンゴの皮にはペクチンが含まれており、整腸作用を促しコレステロールを排出する作用や便秘を防ぎ大腸がんを予防する効果が期待できます。

カリウム

体内の塩分を排出する働きがあり、高血圧に効果があると言われています。

ポリフェノール

皮にはポリフェノールも含まれており、コレステロールを取り除いたり活性酵素を抑える働きがあります。また、がん予防にも効果があるとされています。

近年の発見では、このリンゴポリフェノールには皮膚の光による老化を防止する働きがあることも分かりました。

りんごジャムの作り方

- 《材料》瓶2個分 《使用器具》
- りんご …… 2個 ●ホーロー鍋(またはステンレス鍋) 18cm
 - グラニュー糖 … 180g ●木べら ●穴杓子(あなじゃくし)
 - レモン汁 …… 1/2個 ●保存瓶

- 《作り方》
- ①りんごを良く洗って6~8等分に切り、種の部分を除き5mmの厚さにスライスする。
 - ②鍋にりんごと砂糖を入れ、中火で煮る。アクが出てきたら穴杓子ですくい取る。
 - ③レモン汁を入れて約20分ほど煮込み、とろみがついてきたら出来上がり。
 - ④保存する場合は温かいうちに瓶の口いっぱいまでジャムを入れ蓋を閉め、冷めてから冷蔵庫へ。

アレンジレシピ



アップルパイ

- 《材料》
- 冷凍パイシート
 - 焼きプリン
 - りんごジャム
 - シナモン(お好みで)

- 《作り方》
- ①耐熱容器にパイシートを敷き、焼きプリンを広げる。
 - ②上にりんごジャムとお好みでシナモンをふりかける。
 - ③残ったパイシートで飾り、オーブンで焼く。



市販の冷凍パイシートと焼きプリンを使えば簡単にアップルパイが作れます♪

※ムチンとは「動物」の粘膜・唾液腺などで産生される糖たんぱく質が主成分の粘膜の総称とされていますが、一般的になめこやオクラなどの成分も「ムチン」と呼ばれることがあります。よって、本記事で表記している「ムチン」とは糖とタンパク質が結合することによってできる「植物性の多糖類」であり動物性の粘液に含まれる「ムチン」とは異なります。誤解を与え兼ねない表記であったことをお詫びいたします。

ここにこ保育園 秋の遠足

ここにこ保育園 福角 有加



10月26日(木)秋の遠足で「ハーベストの丘」に行ってきました。天候にも恵まれ、絶好の遠足日和となりました。体と同じくらい大きなリュックサックを背負い、いつもと違う雰囲気嬉しそうに登園してくる子どもたち。少し緊張しながらも大きなバスに乗り大興奮!!楽しくおしゃべりしているうちにあっという間にハーベストの丘に到着。

広場では、シャボン玉を上手にふ〜っと吹いたり、「まてまて〜」とみんなで追いかけてっこをして元気いっぱい。どんぐりや落ち葉を拾ったり、バッタを捕まえたりと、たくさんの自然に触れることもできました。

またトレインに乗ってハーベストの

丘内を移動し、羊や馬、ヤギなど色々な動物を見たり触れたり、餌をあげることも挑戦。恐る恐る触る子や、全く怖がらない子と反応は様々でしたがみんな興味津々で、普段できない貴重な経験がたくさんできました。

そして待ちに待ったお弁当の時間!作ってもらった美味しいお弁当を、友達と見せ合って嬉しそうなお弁当を、みんなで食べるお弁当は美味しかったようで、あっという間に完食でした。

一日たくさん遊んで帰りのバスは気持ちよさそうに眠る子どもたち。色々なものを見たり経験したりと、子どもたちの笑顔溢れる一日となりました。



リレー 随筆



私が藤井外科に配属され、早いもので10ヶ月が経過しました。今まで患者様と直接向き合う事のない部署で仕事をしてきた為、患者様と直接向き合う事の難しさ、大変さを先輩方に日々指導して頂き、勉強しています。

関連施設へ検査等で患者様を送迎する際、患者様から、当院に関する様々な歴史を耳にする事があります。それは患者様からの厚い信頼を得ているという事です。この厚い信頼を失う事のない様、事務職の立場から患者様を少しでもサポート出来るよう頑張りたいと思います。

さて、話は変わりますが、当院3階に平成28年12月より、通所リハビリテーション(デイケア)が開設

しました。「デイケア」とは、あまり聞き慣れない言葉だとは思いますが、名前のおり心身機能の回復を目的とした通所施設です。例えば、発症や受傷で入院・退院後、患者様の心身機能が低下し自宅での日常生活活動に支障をきたす場合が多くみられます。そんな時に活動能力を維持・改善し、在宅での生活の質を高める為、支援する役割を担う施設です。

私も通所リハビリテーション利用者様の送迎のお手伝いをさせて頂いております。利用者様の中には楽しみにしておられる方も多く、お迎えに行った際の笑顔と「お願いします」の一言に元気をいただいています。

これからも皆様の笑顔に出会える様、精一杯努力していこうと思います。

藤井外科 M



医療法人 藤井会

シンボルの由来

全体のイメージは藤井会のF。愛情・信頼・奉仕を表現しています。

医療法人藤井会 <http://www.fujiikai.jp/>

石切生喜病院	〒579-8026 東大阪市弥生町18番28号 TEL 072(988)3121 http://www.ishikiriseiki.or.jp
大東中央病院	〒574-0042 大東市大野2丁目1番11号 TEL 072(870)0200 http://daito-central-hp.com/
香芝生喜病院	〒639-0252 奈良県香芝市穴虫3300番地3 TEL 0745(71)3113 http://www.kashibaseiki.fujiikai.jp
北河内藤井病院	〒575-0003 四條畷市岡山東3丁目1番6号 TEL 072(879)5311 http://www.kitakawachi.fujiikai.jp/
藤井会リハビリテーション病院	〒579-8026 東大阪市弥生町17番6号 TEL 072(983)7811 http://www.fujiikai-reha.jp
藤井外科	〒579-8004 東大阪市布市町3丁目6番21号 TEL 072(985)3051 http://www.fujiigeka.fujiikai.jp/
みくりや診療所	〒577-0034 東大阪市御厨南2丁目6番3号 TEL 06(6787)2508 http://www.mikuriya.fujiikai.jp/
深江クリニック (人工透析センター)	〒537-0002 大阪市東成区深江南3丁目22番13号 布施口ビル2階・3階 TEL 06(6977)2955 http://www.fukaclinic.jp/
住道クリニック (人工透析センター)	〒574-0046 大東市赤井1丁目13番1号 ポップタウン住道1番館1階 TEL 072(872)9555 http://www.suminodoclinic.jp/
藤井会新石切デイサービス	〒579-8014 東大阪市新石切町1丁目8番22号 TEL 072(987)5005 http://www.shinishikiri.fujiikai.jp/
藤井会ケアプランセンター	〒579-8026 東大阪市弥生町17番6号 藤井会リハビリテーション病院1階 TEL 072(983)7806 http://www.shinishikiri.fujiikai.jp/care/
藤井会訪問看護ステーション	〒579-8026 東大阪市弥生町20番20号 TEL 072(983)7622
看護多機能施設さくら	〒579-8026 東大阪市弥生町20番20号 TEL 072(983)7633

藤井会グループ案内図

